

しろいし・フレッシュマーケットだより

しろいし産の新鮮な旬の農作物などの直売所情報を掲載します。

1. 百姓市場

- 販売日時：毎週火・日曜日、10:00～13:00
- 場所：ポーチパーク内ほか
- 今月の品ぞろえ：放し飼い卵、季節の旬の野菜、漬物
- 問い合わせ：佐久間 義昭 ☎25-6836

2. 馬牛沼産直センター【定休日：毎週月・水・金曜日】

- 販売日時：毎週火・木・土・日曜日、10:00～17:00
- 場所：国道4号沿い馬牛沼付近
- 今月の品ぞろえ：季節の旬の野菜、凍豆腐、干し柿など
- 問い合わせ：馬牛沼産直センター ☎25-0520

3. 森合や直売所

- ※1月～3月まで休業します。
- 4月から営業しますので、よろしくお願ひします。

4. 小原いきいき直売所

- ※1月～3月まで休業します。
- 4月から営業しますので、よろしくお願ひします。

5. 青っ葉市直売所

- ①ポーチパーク【1月第3週～12月第4週】
○販売日時：毎週水・土曜日、9:00～13:00
- ②本郷店【2月第2週～12月第3週】
(旧国道113号角田街道踏切そば)
○販売日時：毎週水曜日、8:30～12:00
- ③いきいきプラザ【5月第2週～12月第3週】
○販売日時：毎週土曜日、8:30～12:00
- 今月の品ぞろえ：季節の旬の野菜、果物、漬物など
- 問い合わせ：菊地 トミ ☎25-4600

6. パーバ工愛市(クラブいち)

- ※1月～3月まで休業します。
- 4月から営業しますので、よろしくお願ひします。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。

☎農林課 ☎22-1253

～白石三白を守る!～「小原の寒くす」3年ぶりに生産を開始しました!!

白石には、「和紙」、「うーめん」そして「寒くす」の白石三白と呼ばれる白い特産品があることは、皆さんご存じのことと思います。

白石市史によると、寒くすは昭和20年代には年間2,000kgを超える生産量を誇っていましたが、戦後の植林事業の推進などにより、原料となるくすは邪魔者として、次々に刈り取られていきました。このため、年々生産する人も減り、いつの間にかその生産は途絶えてしまいました。

平成7年、白石城が復原されたことをきっかけに、白石三白の「寒くす」の生産を復活させようと小原大熊地区の果樹栽培農家の皆さんに市が働きかけ、平成8年1月に「小原地区寒くす生産組合」を設立して生産を復活させ、年々生産量を伸ばしていきました。

しかし、原料となるでんぷんを含んだくす根が少なく、思うように作業ができない状況になってきました。そこで、平成8年の春に原料不足を解消しようと、リンゴ畑の跡地を利用して試験的にくすの栽培を始め、現在は約30アールで試験栽培を行っています。

1月10日、今年は栽培開始から10年を迎えることから、10年栽培をしたくす根を掘り出して3年ぶりの生産を開始しました。掘り出したくす根は21株110本で約74kg。これを原料として取れる寒くすは約5%に当たる約3.7kgほどとなる見込みです。

5年前にも栽培したものを掘り出して寒くすを生産し、生産量は原料の約5%を確保できましたが、純白のくす

とはならず品質はもう一つでした。

今回生産するくすの生産量と品質が良いものとなれば、安定した生産量を維持するため、栽培面積を増やすことも考えられます。

市では、「白石三白」を絶やすことのないよう、宮城県や農協なども連携を図りながら、今後とも「小原の寒くす」の生産を支援していくこととしています。

小原の寒くす年次生産量

年度	生産年	生産量	年度	生産年	生産量
8年度	9年産	20kg	13年度	14年産	80kg
9年度	10年産	120kg	14年度	15年産	60kg
10年度	11年産	190kg	15年度	16年産	62kg
11年度	12年産	170kg	16年度	17年産	0kg
12年度	13年産	110kg	17年度	18年産	0kg



▲栽培したくすの長さや重さを測定する寒くす生産組合の小室組合長たち

■市内施設のなるほどイベント情報

1 古典芸能伝承の館「碧水園」

2月の休館日 5・13・19・26日
☎・☎25-7949

■如月の碧水園茶会

雪景色を眺めながら、一服いかがですか。心も身体もホッとします。

【裏千家薄茶席】

●日時 2月4日(日)
10:00～15:00

【裏千家薄茶席】

●日時 2月11日(日)
10:00～15:00

●お茶券 400円

1月の碧水園は、新春の情緒たっぷりの事業が開催されました。

1月7日、古典芸能伝承の館「碧水園」で新春茶会が行われました。

お正月ならではのしつらえをした茶室で、濃茶と薄茶の2席が催されました。参加者は、おめでたい雰囲気の中で、ゆったりと初春のお茶を楽しみました。

また、1月14日には、舞台びらきが行われました。

はじめに、風間市長ら関係者が能舞台に上がり、古典芸能の隆盛を願う「舞台清め式」を行いました。その後、定期講座の1つである「高砂を謡う会」の皆さんの発表会をはじめ、伝統芸能振興会の各団体の皆さんが、神楽や謡曲、日本舞踊や箏曲、長唄などを次々と披露しました。

また、昨年10月から実施している「子ども能楽教室」に参加している子どもたちも、日ごろの練習の成果を披露しました。



▲子ども能楽教室の子どもたちの舞台

3 あしたば白石(働く婦人の家)

2月の休館日 5・11・12・19・25日
☎・☎25-5095

■「ポリマークレイ講座」受講生募集

～あなただけの一品を樹脂粘土で作ってみませんか?～

●日時 2月14日・28日の2日間(いずれも水曜日) 10:00～12:00

●講師 佐久間 幸枝先生

●参加費 1,000円程度(材料代)

※作業のできる服装で参加してください。

●募集人数 20人(先着順)

●申込受付開始日 2月1日(木)



▲樹脂粘土で作ったネックレス

※講座への申し込みは、電話で受け付けます。人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

4 弥治郎こけし村

開村時間9:00～16:00 ☎26-3993
入村無料

2月は休まず開村します。

こけし村では現在、毎年恒例の「雛の宴展」を開催しています。

かわいらしいひなこけしを多数展示していますので、皆さんぜひお越しください。

また、柴田長吉郎コレクションは、好評いただいたPART1に引き続き、PART2を開催中です。

たくさんの方のご来村をお待ちしています。

■雛の宴展

●開催期間 3月4日(日)まで

■柴田長吉郎コレクション展PART2

●開催期間 3月19日(月)まで

■こけしの絵付けを体験してみませんか?

弥治郎こけし村では、こけしの絵付け体験ができます。ぜひ一度、自分だけのオリジナルこけしを描いてみませんか?

ご家族おそろいで絵付け体験にぜひお越しください。

●絵付け料 600円(木代含む)

2 土・日・祝も開館しています! ふれあいプラザ

ふれあいプラザ事務室
☎22-6025 ☎22-6027

男女共同参画相談支援センター
☎22-6035 ☎22-6037

ファミリーサポートセンター ☎・☎25-5488

開館時間 8:30～17:15

(土・日・祝日 10:00～16:00)

■男女共同参画相談支援センター

DV(配偶者間の暴力)、セクハラ、ストーカーで悩んでいませんか?

一人で抱え込まずに、一緒に解決方法を探りましょう。電話での相談もできます。また、自分の心や生き方、人間関係を見つめたい方へのカウンセリングも行っています。お気軽にご利用ください。

相談は無料、秘密は守ります

専門の相談員による相談は月・水・金の9:00～16:30です(緊急時はこの限りではありません)。

●場所 字本町27

(ふれあいプラザ) ☎22-6035

■男女共同参画相談支援センター・働く婦人の家共催

「心も体もリフレッシュヨーガ」参加者募集

参加無料

5000年の歴史を経て完成された、ココロとカラダの健康法「ヨーガ」とトークでリフレッシュしましょう。

●日時 2月13日(火) 18:30～20:00

●講師 佐藤 美弥子先生

●場所 中央公民館(第1・2講座室)

●対象者 市内に在住または通勤されている方

●定員 30人(先着順)

※動きやすい服装でご参加ください。

●申込受付開始日 2月2日(金)

●申し込み・問い合わせ先

ふれあいプラザ ☎22-6025

ヨーガはインドに古くから伝えられてきたものですが、心や体をコントロールするという点が注目され、最近では世界中で広く行われるようになってきています。

ゆっくりとした呼吸に合わせて動きますので、心や体からの深い気付きが得られ、ストレスや運動不足からくる体の不調を取り除き、本来の健康な姿へと変えてくれます。